

平成 29 年度 第 4 回 総合事業サービスワーキンググループにおけるご意見

1 月 10 日に開催した「総合事業サービスワーキンググループ」において、委員の皆様よりいただいた主な意見は以下の通り。

○フレイル予防や改善を目的とした新たな事業の検討について

- ・「楽しければやりたい」という声は聞くので、新しい事業のニーズはあると思う。
- ・「各区 1 箇所」、「スポーツ施設」と限定するのではなく、地域性も考えた方が良いのではないか。例えば西区などでは、送迎なしとなると利用者が限定されてしまうと思う。
- ・利用者を適切につなげてフレイル予防を実施する方が、給付費抑制の効果が出ると思うので、通いやすい場所に作っていく方が、5 年 10 年という中長期では給付費抑制ができるのではないか。
- ・介護予防の活動に「楽しい」「面白い」の要素を入れるのは良いと思う。各区に 1 箇所だと広がらないので、通いやすいように考えてほしい。
- ・個人的な意見だが、健康に関心のある人だからジムに行くのであって、無関心な人に何か予防しましょうと声をかけてもあまり興味を持たれないのではないか。新たなサービスを設けるよりも、地域の自主グループを増やした方がいように思う。
- ・利用者に分かりやすいよう、サービス内容とケアマネジメントを一緒に考えていってほしい。

○訪問型サービスの対象者の見直し等について

- ・生活支援訪問サービスの研修は、講義だけでなく、現場体験もあった方が良いと思う。実際に目で見ることで働くスタッフに共感を持つこともある。
- ・研修受講者を募集する段階でも、受ける側に魅力やインセンティブがあるような形が考えられないか。
- ・生活支援訪問サービスは研修修了者を雇用できないと提供が難しいが、このまま続けても担い手が増えるのか疑問がある。

※その他

介護予防通所サービスの報酬について、サービスの現状や国の介護報酬改定も踏まえ、来年度以降も引き続き、本ワーキンググループにおいて議論することとなった。